

LAST

握り心地が  
マッチしたグリップは  
飛距離アップを  
実現できる！

# CHANGE THE GRIP!

あなたのクラブ、  
そろそろグリップ交換の  
時期ですよ！



ゴルフクラブとプレーヤーを繋ぐ唯一の接点「グリップ」。だけどグリップの重要性について  
考えたことないかも…。第4回目はグリップによるパフォーマンスの可能性を、  
有名プロコーチとグリップメーカーのタッグでとことん語り合います。

撮影=小林司 取材協力=日本フェイウィック

ベストなグリップは  
ゴルファーの  
感覚で決まるもの、  
定義は存在しない

清水 チャーリーさんがユーチューブチャンネル「ちゃがるTV」で発信されているグリップ選びの大切さは、私たちメーカーの思いを代弁してくれていて感謝しています。



食わず嫌いは  
もったいない…  
宝探しをするような感覚で  
様々なグリップを  
試してほしい

——チャーリー高沖さん



ヘッド、シャフト同様に  
グリップのカスタマイズが  
当たり前になる時代は  
間もなく必ず訪れます

——日本フェイウィック清水さん

とは、グリップ選びの重要性を皆様にご理解いただける、いい機会だと思っています。  
清水 そうですね。ヘッドやシャフト同様に、グリップをカスタマイズすることを、もっと多くの皆さんに知っていただければ嬉しいです。

高沖 例えればドライバーの場合、ご自分でマッチしたグリップを選べば、飛距離は間違いなくアップできます。私は躊躇なく断言しています。

清水 ゴルフアーチ個人個人、千差万別のスイングの性質によって、ベストなグリップは変わること。握る感覺やスイング中のグリップへの負荷のかけ方など個人によつて、ベストなグリップは異なるため、私たちが最適の定義づけをするべきではないのです。

高沖 私も同意します。Golf Prideでも時代の流れによる二つの多様性にいち早く対応するべく、単モデル毎でもあらゆるサイズや重量を揃えるほか、モデル別で素材による握り心地の多様化を進めきました。「太グリップ」を主に話が進してきましたが、あくまでゴルファーの感覚・志向が主役であり、細グリップ。がベストなケースも当然あるのです。

清水 買ったまま、いわゆる純正グリップを使っていることが多いのですね。

高沖 Golf Prideは多様なニーズに応えられるラインナップが揃っています。まずは店頭で握っていただき、違いを感じることがスタートですね。

## COLUMN



グリップ選びの  
定義は  
もう通用しない

いますが、「太グリップ」が脚光を浴びている今こそ、その圧倒的な違いを「自分で体感してほしい。グリップが変われば、クラブそのものが変わることを必ず体感できるし、グリップをカスタマイズする意義を感じていただけるはずです。自分の足に合ったショベルが速く走れるように、自分に合ったグリップは、振りやすくなります。」に直結し、飛距離アップにも直接関係しているのです。

清水 カスタムシャフトが一般化したように、カスタムグリップも近い将来にそれと同じ存在になることは間違いません。

## 人気の 太グリップの 可能性

「CP2」や「PLUS4」に代表される「太グリップ」は、最新型ドライバーとの相性が注目されている。例えば慣性モーメントが大きいモデルはヘッド重量が重めのものが多く、手元側を大きくカウンターセッティングすることで、自ずとヘッドバランスを軽くでき、体感的にも噛むように軽快な握り心地をチューニングすることができる。

## CP2 Wrap™ジャンボモデル

超太グリップかつ80gの重量とやわらかい質感が特徴。CP2はアンダーサイズ46g、スタンダード50g、ミッドサイズ64gと同一モデルで4サイズ&重量の滑らかなラインナップを誇り、多様なニーズに対応する。

## ツアーベルベット・プラス4・ミッドサイズ

グリップ下部をテーパーレス形状として下巻き4枚分同等の太さを実現したグリップ。左右のグリップをバランスよく握れるフィーリングに寄与する。ミッドサイズ66g、スタンダード52gで様々なニーズに対応する。

清水 私も同意します。Golf Prideでも時代の流れによる二つの多様性にいち早く対応するべく、単モデル毎でもあらゆるサイズや重量を揃えるほか、モデル別で素材による握り心地の多様化を進めました。「太グリップ」を主に話が進してきましたが、あくまでゴルファーの感覚・志向が主役であり、細グリップ。がベストなケースも当然あるのです。

高沖 買ったまま、いわゆる純正グリップを使っていることが多いのですね。